

授業科目 成人発声発語障害学 III

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	言語
佐藤 克郎、西尾 正輝、渡辺 時生		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要・一般目標：G10】 発声と構音に関連する器官の構造・機能を学んだ後、音声障害と構音障害をきたす疾患の病態について考察する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 講義内容を整理し理解して、きちんと説明ができるようにまとめる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	発声器官の構造と機能				講義、担当：佐藤 克郎
2	音声障害をきたす疾患				講義、担当：佐藤 克郎
3	構音器官の構造と機能				講義、担当：佐藤 克郎
4	構音障害をきたす疾患				講義、担当：佐藤 克郎
5	まとめ				講義、担当：佐藤 克郎
6	喉頭の視診				講義、担当：西尾 正輝
7	声帯振動の検査				講義、担当：西尾 正輝
8	音声の聴覚的評価				講義、担当：西尾 正輝
9	音声の音響解析				講義、担当：西尾 正輝
10	空気力学的検査				講義、担当：西尾 正輝
11	音声治療の概要、声の衛生				講義、担当：渡辺 時生
12	発声行動変容訓練（1）				講義、担当：渡辺 時生
13	発声行動変容訓練（2）				講義、担当：渡辺 時生
14	無喉頭音声の訓練				講義、担当：渡辺 時生
15	気管切開患者への対応、音声障害者の社会復帰				講義、担当：渡辺 時生
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		言語聴覚士のための講義ノート 音声系肺・喉	中野雄一	考古堂書店	2010・2,000円＋税
		言語聴覚士のための講義ノート 新耳鼻咽喉科	中野雄一	考古堂書店	2010・2,800円＋税
		新編言語治療マニュアル	伊藤元信、笹沼澄子	医歯薬出版	2002・6,400円
		STのための音声障害診療マニュアル	廣瀬 肇（監修）	インテルナ出版	2008・3,500円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況と定期試験で評価する。			【履修上の留意点】		